

【学生による ESD 学習支援活動】

奈良市富雄第三小中学校 第4回ユネスコ委員会 支援報告書

社会科教育専修 1 回生 足立繁郁

1. 日時 平成 30 年 7 月 4 日 (水) 14:00~16:00
2. 場所 奈良市富雄第三小中学校
3. 参加者 社会科教育専修 仲村幸奈 (学部 2 回生) 足立繁郁 (学部 1 回生)
奈良市富雄第三小中学校 教員 2 名、児童複数名
環境カウンセラー 吉田氏、室賀氏

4. 活動支援内容

奈良市富雄第三小中学校において、第4回ユネスコ委員会が行われた。今回の活動では、去年から年度をまたいで継続されているビオトープ活動についてこれから奈良市富雄第三小中学校のビオトープをどのように良くしていくかについて考え、話し合うことができた。

今回の活動を2点にまとめて報告する。一つ目は今後の支援における知識の重要性について、二つ目は継続した支援が重要であることについてである。

一つ目の今後の支援における知識の重要性についてである。今回は、雨天のため屋内で環境カウンセラーである吉田氏、室賀氏を招いてビオトープの勉強会を行った。私はこのビオトープについての勉強会で知識不足を実感した。例えばアメリカザリガニなどの外来種は、ビオトープに対して悪影響を及ぼすなどということについてである。このような知識を増やしていくことにより、より良い支援ができると感じた。これからもっとビオトープについて勉強し、子どもたちに伝えられるようにしていきたい。

二つ目の継続した支援が重要であることについてである。ビオトープを作っていくにあたり、継続して支援をしていくことにより変化に気づくことができ、より細かい意見を出せるようになって感じた。富雄第三小中学校のビオトープに関する活動は去年から年度をまたいで行われている。これから



ビオトープの勉強会の様子



ビオトープの様子

も富雄第三小中学校ユネスコ委員会と関わり、共に富雄第三小中学校のビオトープを作っていく。

以上2点について、今回の支援で感じることができた。次回の支援では、ビオトープについてより知識をつけて挑みたい。そして、これからのビオトープの進化の手助けを行いたいと考えている。